

ふくいむしむし大調査！ 昆虫の分布調査 in 福井（2025）

福井県内で 8 種の昆虫を対象に分布調査を行います。対象の昆虫を見つけたら、右の二次元バーコードを読みとって情報をお知らせください。



- 【目的】 この調査では、下記の昆虫を対象に、市民の皆さんと一緒に県内の分布状況を調べるとともに、特定外来生物に指定されている昆虫の県内への侵入をいち早く把握し、早期に防除して定着を防ぐことを目的とします。
- 【期間】 2025 年 8 月 5 日～ 2025 年 12 月 15 日
- 【方法】 対象種の昆虫を福井県内で見つけたら、スマートフォンのカメラで写真を撮影し、上の二次元バーコードから情報を記入してお送りいただくか、下記アドレスに見つけた場所、日時の情報と一緒に写真をお送りください（写真のサイズは 5MB 以下にしてください）。
- 【メール宛先】 sizen@city.fukui.lg.jp *メール件名は「昆虫分布調査」としてください。
- 【調査対象】 **アカボシゴマダラ、クビアカツヤカミキリ、ツヤハダゴマダラカミキリ、アカハネオンブバッタ、ムネアカハラヒロカマキリ、シタベニハゴロモ、キマダラカメムシ、ヒラズゲンセイ**

【お願い】

上記の昆虫を見つけたら、標本を福井市自然史博物館までお届けいただけますと大変ありがたいです（謝礼はお出しできません）。

ただし、アカボシゴマダラ、クビアカツヤカミキリ、ツヤハダゴマダラカミキリは特定外来生物に指定されており、生きたまま持ち運ぶことが禁止されておりますので、必ず殺傷して（踏みつけるなどして）からお届けください。また、ヒラズゲンセイは有毒なので、素手でさわらないでください。

各調査対象種の解説



アカボシゴマダラ

- 大きさ：70-85mm
- 成虫が見られる時期：5-10 月
- 生息環境：市街地～里山

県内の分布確認状況



クビアカツヤカミキリ

- 大きさ：22-38mm
- 成虫が見られる時期：6-8 月
- 生息環境：公園、市街地など

県内の分布確認状況



フラスが本種
発見の手かり



写真撮影：桐山 哲氏
クビアカツヤカミキリの幼虫は木に開けた穴から大量のフラス（糞と木くずが混ざったもの）を出す。



ツヤハダゴマダラカミキリ

- 大きさ：20-35mm
- 成虫が見られる時期：5-10 月
- 生息環境：果樹園、街路樹など

県内の分布確認状況



【外来種】



胸に白い波紋なし
ハネ上部の表面はつるつる

【在来種】



胸に白い波紋あり
ハネ上部の表面はボツボツ

特定外来生物とは

もともと日本にいなかった生物（外来生物）のうち、生態系、人の生命や身体、農林水産業に被害を及ぼすもので、外来生物法に基づき指定される。特定外来生物に指定されると、飼育・栽培・保管・運搬（生きた状態での）・輸入・販売・譲渡・野外に放すことなどが原則禁止される。

<例> アライグマ、ウシガエル、オオクチバス、コクチバス、ブルーギル、ヒアリ、ウチダザリガニ、オオキンケイギクなど

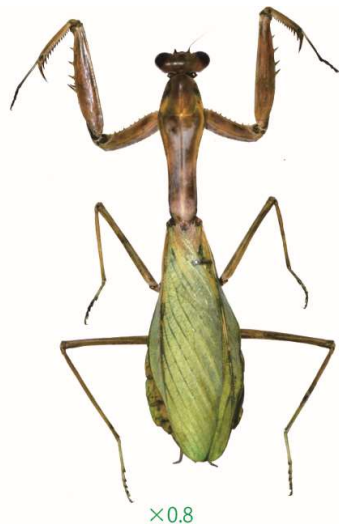
★ 大きさはチョウでは、開張（左右の前バネを開いたときの長さ）、その他の昆虫では体長（頭～腹の先端の長さ）で表しています。



▲アカハネオンブバッタのオスとメス

アカハネオンブバッタ

- 大きさ：20-42mm
- 成虫が見られる時期：7-11月
- 生息環境：公園、河川敷、里山など



▲ムネアカハラヒロカマキリのメス

ムネアカハラヒロカマキリ

- 大きさ：64-83mm
- 成虫が見られる時期：9-11月
- 生息環境：公園、林の近くなど



▲卵を産み付けるシタベニハゴロモ

シタベニハゴロモ

- 大きさ：10-20mm
- 成虫が見られる時期：7-11月
- 生息環境：公園、農地、河原、林、海岸、庭など



▲シタベニハゴロモ幼虫

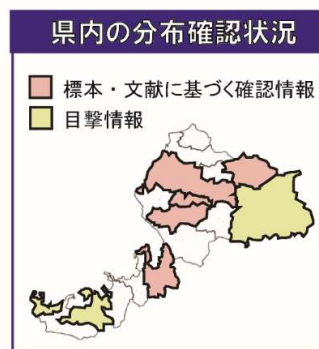
頭部に黄色い筋が目立つ



▲キマダラカメムシ成虫

キマダラカメムシ

- 大きさ：20-23mm
- 成虫が見られる時期：4-11月
- 生息環境：公園、庭、市街地など



▲キマダラカメムシ幼虫

分布拡大種、ヒラスゲンセイを採せ！



素手でさわらないで!!

カンタリジンという毒素を含む体液を出し、これが皮膚につくと、水ぶくれのような炎症を起こします。体液がついたら、すぐに水で洗い流しましょう。

- 大きさ：18-33mm
- 成虫が見られる時期：6-8月
- 生息環境：林の近く、公園、庭など

県内の分布確認状況



調査対象昆虫のより詳しい解説はこちら（ただし、アカボシゴマダラは未掲載）